

令和元年度(平成31年度) 基本目標に付随する数値目標の指標一覧【速報版】

資料1－4

基本目標	シート No.	数値目標 【担当部局】	従前値	指標の 方向性	H30 実績値	R1(H31) 目標値	R1(H31) 実績値 (推:推計値)	最終 目標値	進捗 状況	評価			効果発現要因(成果)
										有効性	効率性	総合 評価	
Ⅰ つくばの特性をい かした産業競争力の 強化でしごとをつくる	①-1	新規正規就職者数の増加 【経済部】	2,325	↑	2,445	2,625	推 2,884 人	2,625	順調	高	高	S	○市内のハローワークにおいて相談・紹介等を行っている効果や就職支援イベントの成果による。【産業振興課】 ○創業支援ネットワークによる関係機関一体となった支援による。【産業振興課】 ○関係機関と連携した相談対応や補助制度等の支援による。【農業政策課】
	①-2	新規創業数 【経済部】	24	↑	306	180	推 397 人	180	順調	高	高	S	平成26年度に、つくば市商工会、つくば研究支援センター、筑波大学、産業技術総合研究所、日本政策金融公庫、常陽銀行等と構築した創業支援ネットワークが軌道に乗り、創業しやすい環境が整ったことによる。 また、平成30年度は、このネットワークにコワーキングスペース運営事業者も新たに加わり、支援対象者の幅が広がったことによる。 さらには、スタートアップ支援も本格的に開始したことも要因のひとつとして挙げられる。
Ⅱ 結婚し、子どもを産 み・育て、健康に生活 できる環境をつくる	①-3	合計特殊出生率の向上 【保健福祉部】	1.43	↑	1.43	1.55	1.46 人	1.55	やや 遅れ	中	中	B	合計特殊出生率を地区別にみると、子育て世代の人口が増加しているTX沿線地区が高く、次いで研究学園地区、豊里地区となっているが、TX沿線地区を除くと全地区とも人口を維持するとされる2.07を大きく下回っている。 年代別の出生率をみると、40歳以上の出生率が増加傾向にあり、晩産化が進んでいることが要因のひとつと考えられる。
	①-4	保育所の待機児童数 【こども部】	104	↓	131	18	推 - 人	0	やや 遅れ	低	中	D	これまでの保育需要の増加傾向を踏まえ、平成31年度においては保育所等の新設及び既存施設の定員変更により、618人分の定員拡充を図った。 しかし、毎年申込者数が400～500人程度増えているため、待機児童の解消には至っていないことが見込まれる(実績値については例年、翌年4月の値としている。また、現時点では入所手続中であり、推計値についても未定である)
Ⅲ 交流・居住環境の 魅力を高め、つくばに ひとを呼び・ひとを留め る	①-5	東京圏からつくば市内への年間転 入者数の増加 【市長公室】	3,843	↑	4,537	4,692	推 4,593 人	4,692	概ね 順調	中	中	B	転入者の増加数の伸びは、平成27～29年度は増加傾向にあり、30年度は多少の減少があるものの、令和元年度も若干の増加が予想され概ね順調と見なすことができる。 本年度は、関係人口の創出事業に取り組んだほか、SNSや冊子等を活用したPRを行ったことで、転入者数が増加傾向となっており、この5年間の取組が浸透した結果だと考えられる。
	①-6	つくば市内からの若者(15～29歳) の年間転出者数の増加数抑制 【市長公室】	5,713	↓	5,973	6,133	推 6,166 人	6,133	概ね 順調	中	中	B	転出者数の増加抑制は、平成27～29年度は若干の増加傾向にあり、30年度は、抑制することができたものの、再び令和元年度は若干の増加が予想されるが、総体的は、概ね順調と見なすことができる。 本年度は、大学生に市の魅力を実感してもらうため、引き続き、つくばならではのコンテンツを紹介する「つくジュニックMAP」の制作・配布や就活支援イベント等を実施するとともに、加えて、先駆的な取組を紹介する「TSUKUBA TOMORROW LABO」等のプロモーションを実施した。 転出者増を最低限に抑えられている理由としては、この5年間の取組が浸透した結果だと考えられる。
Ⅳ 公共交通網で結ば れた安全で安心な地 域をつくる	①-7	つくバス利用者数 【都市計画部】	888,032	↑	1,052,988	1,069,739	推 1,009,000 人	1,069,739	概ね 順調	高	中	A	平成31年4月に実施した公共交通改編は、つくバスだけでなく、民間路線バスを利用した実証実験等、新たな交通手段も提供しているため、それらの交通手段に利用転換が図られたこともあり、目標値を下回った。 しかしながら、本施策が目指す方向性の一つとして公共交通網全体の充実を図ることが掲げられている。今回の成果を受けて、つくバスのみならず、広く公共交通が利用されていると判断できることから、進捗状況については概ね順調とみなすこととする。
	①-8	まちなか居住人口 【都市計画部】	88,477	↑	102,986	106,023	107,904 人	106,023	概ね 順調	高	中	A	定住促進や地区計画、景観協定等による街並み誘導を図ることで、市街地における良好な都市環境の実現に寄与し、人口が増加していると考えられる。
	①-9	まちなか人口密度 【都市計画部】	36.13	↑	42.51	43.29	44.54 人/ha	43.29	概ね 順調	高	中	A	定住促進や地区計画、景観協定等による街並み誘導を図ることで、市街地における良好な都市環境の実現に寄与し、人口が増加していると考えられる。

※進捗状況及び評価の基準については、資料1－3を御参照ください。